



77th 市川中学校卒業式

▼3月11日(月)市川中学校第77回卒業式が行われました。4年ぶりに遠藤浩町長様をはじめ3名のご来賓をお迎えての卒業式になりました。▼卒業証書授与では、担任の呼名に対し、卒業生一人一人が、「はい」という大きな声で返事をし、壇上に上がりました。



私から「おめでとう」と一声かけ証書を渡すと、「ありがとうございます」と堂々と受け取る生徒の姿からは、義務教育を終え、巣立ちゆくたくましさを感じられました。▼校長式辞では、コロナ禍2年目の令和3年4月に本校に入学してからの2年間は、毎日の体調チェック、黙食での給食、ペアやグループ活動の自粛、合唱活動や調理実習の中止、部活動の制限など、通常では考えられない学校生活が続いたこと。3年生に進学し、コロナ禍が5類になってからは、部活動や陵風祭、合唱発表会等で、下級生を引っ張り、取組の成果を発揮したことを讃えました。



▼中でも、臨時生徒総会においてSDGs市川中オリジナル18個目の目標「毎日を幸せと思えるように」と、市川中の新しい「きまりと心得」を中心になって創設してくれたことは、来年度から導入されるユニバーサル制服とともに、後輩たちに脈々と引き継がれ、さらなる市川中学校の発展の原動力となることは間違いのないことを伝えました。▼そして最後に、卒業後も、高い志(目標)をもってほしいこと、生涯学び続けてほしいこと、感謝と人を気遣う心をもち続けてほしいことの3つを、卒業生への「はなむけの言葉」として贈りました。▼続いて、在校生から卒業生に、市川中のリーダーとして、陵風祭や部活動、委員会活動で下級生を引っ張ってくれたことへの感謝と、これからは、卒業生に代わり自分たちが市川中の良き伝統を引き継いでいく決意が伝え、全員で「結」を合唱し、巣立ちゆ

く卒業生にエールを贈りました。力強く、心のこもった素晴らしい発表でした。



▼式の最後は、卒業生による発表でした。中学1年からの楽しかったことや仲間との思い出が次々に語られ、市川中での3年間を振り返りました。後輩たちへの激励のメッセージ、大切な家族への感謝の思い、そしてお世話になった先生方への感謝の言葉が述べられました。フィナーレは、合唱発表会でも披露した大曲「僕のこと」でした。この3年間で大きく、そして逞しく成長した卒業



生が、それぞれの未来に力強く旅立とうとする強い思いが伝わってくる素晴らしい発表でした。希望に満ち溢れた卒業生63名の前途に、幸多きことを願います。

51期初老の会の皆様より

▼3月5日、市川小学校・市川中学校の卒業生で、第51期初老の会会長の一瀬広朗さんと、副会長の村松英敏さんが、校長室を訪れ、初老記念として市川中に25万円を寄贈していただきました。▼いただいたご寄付で、今回の卒業式で初おろししたアルミ製の「踏み台」を2脚購入させていただきました。一瀬会長か



らは、「私たちが踏み台に、大きく、逞しく成長し続けてください」との激励の言葉がありました。▼大切に使用させていただきます。51期初老の会の皆様ありがとうございました。